

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○		○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

企業・団体名	株式会社エス・キュー・シー	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	57名
事業概要	コンピュータシステムの開発及びコンピュータシステム検証		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク規程
テレワーク担当部署	統括本部管理部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	57名
平均実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 2020年2月新型コロナウイルスの国内での感染が広がり、従業員の安全を守るため、学校が休業になったタイミングと同時に時差出勤とテレワークを開始した。
- 当初は緊急事態宣言期間中を予定しており、2020年7月頃には新型コロナウイルスは収束に向かうと考えていたが、国内外の状況から長期戦になると判断、また働き方改革を進める上での好機と捉え、2020年6月頃に永続的にテレワークを行うことに方針転換し、就業規則の改定及び社内業務のシステム化・在宅勤務環境を整備し、週3回から週5回のテレワークを1年8ヶ月継続し今日に至る。

## テレワークの概要・特徴

- 本社事業所は週1回の出勤日以外は原則テレワークを実施中。
- 取引先にて業務することが多い技術系社員は取引先のルールに準拠するが、全体の7割でテレワーク(日数は取引先によって異なる)を正社員・契約社員・協力会社社員など全職種で実施している。
- 業務に関してはICTをフル活用し、在宅勤務においても業務効率化と生産性向上を図るべく、コミュニケーションを取りながら戮力協心している。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 経費の削減が図る事ができ、コロナ禍でも社員に賞与などで還元する事ができた。
- ICTの活用により経営状況の見える化が実現できた。
- 通勤時間を削減し、時間のゆとりができた。
- テレワークにより、自宅での在宅時間が増え、家族とのコミュニケーションが今まで以上の取れるようになった。
- 単身赴任者のテレワークにより、家族とのコミュニケーションが取れるようになった。
- 育児期間中の社員が子供の送り迎えなどをし易くなり、子供の病気などでやむを得ず休暇を取得する事が減った。